

知財教育のモデル校を募集します！

沖縄県発明協会では、青少年に対する知財教育を推進するため、モデル校となっ
ていただける高等学校等に、**弁理士等の講師派遣などサポート**を提供します。

(注) 沖縄県委託の平成26年度知的財産活用促進支援事業において実施しております。

こんな学校におすすめです

- 新学習指導要領に対応した知財教育を実施したい。
- 県内の技術開発、商品開発を支える企業の話を知りたい。
- 特許や商標出願等のノウハウを知りたい。



【対象校】

農林・商業・工業・普通(理数科)高校、
デザイン系の専門学校など

生徒に対する実施後のアンケートに応じて
いただける等の条件で、県内高校等を4校
程度選定し、弁理士や企業経営者等講師を
派遣し、その他テキスト配布など必要なサ
ポートを提供します。

過去の実施例



商業高校での実施例：
商品開発やそのネーミングの重要性を学び、商標
出願の手続き方法について習得を図る。

工業高校での実施例：
知的財産の基礎を学び、
世の中の技術について特
許電子図書館で調べる。



募集・実施期間

【募集】平成26年5月～7月末

【実施】平成26年5月～平成27年2月末日
※開催時期、回数、時間は学校側のご要望
に合わせて、設定いたします。

カリキュラム例

学校側と相談した上でカリキュラムを設定し、
2～3回の授業等を実施します。
※詳細は裏面参照

- ・ 知的財産や商品開発の専門家のお話し
- ・ アイデアを形にする、デザインする等
の演習
- ・ 知的財産権制度の基礎
- ・ 出願の手続き方法
(特許、商標)



問い合わせ先

沖縄県発明協会

検索

トップページの「お知らせ」へ

一般社団法人 沖縄県発明協会

担当： 宮川、 林

〒904-2234 沖縄県うるま市字州崎12-2

沖縄県工業技術センター内

mail: j-miyakawa@okinawa-jiii.jp

URL: <http://www.okinawa-jiii.jp>

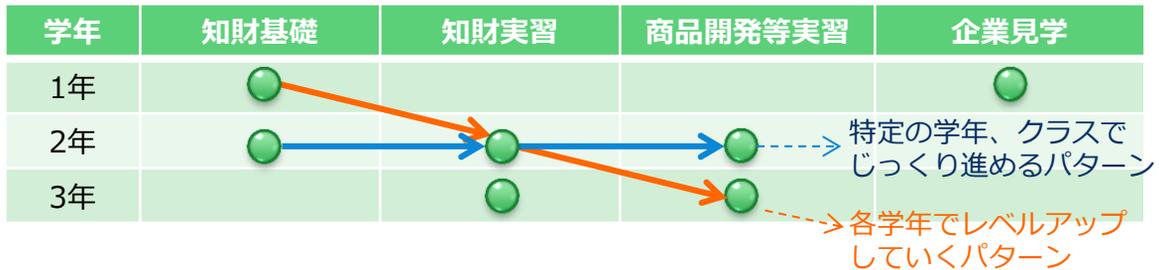
電話 098-921-2666 F A X 098-921-2672



平成26年度 知的財産活用促進支援事業
知財教育のモデル校を募集します！

カリキュラム例

※内容・回数・時間は学校側のご要望に合わせて設定いたします。



区分	目的(学校からの要望)	カリキュラム	必要時間	対象学年
工業高校等向け	知的財産の概要を知識として学ばせたい	<ul style="list-style-type: none"> ・発明品(実物)を用いた講義 ・有名人の特許出願例を用いた講義 ・特許になるもの、意匠になるものに関するクイズを用いた講義(講師:弁理士) 	50分	1~2年
	パテントコンテスト、デザインコンテストに出品する生徒を支援してほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・特許の要件などの講義 ・パテントコンテスト等の出品作品へのアドバイス ・IPDLによる先行調査の実習 ・提出書類のまとめ方に対するアドバイス(講師:弁理士) 	100分	2~3年
	知的財産を活用している企業を見学したい	<ul style="list-style-type: none"> ・特許を用いた製品を製造している企業の工場見学 ・企業にとって知的財産の重要性についての講義(講師:企業関係者) 	90分~ 半日	1~3年
商業高校 農林高校等向け	知的財産の概要を知識として学ばせたい	<ul style="list-style-type: none"> ・発明品(実物)を用いた講義 ・有名人の特許出願例を用いた講義 ・特許、商標登録に関するクイズを用いた講義(講師:弁理士) 	50分	1~2年
	課題研究で開発している商品に関連して、特許出願、商標出願の実務について学ばせたい	<ul style="list-style-type: none"> ・特許、商標の要件などの講義 ・出願手続きの進め方 ・IPDLによる先行調査の実習 ・出願書類の書き方(講師:弁理士) 	100分	2~3年
	商品開発や商標に関連する商品パッケージのデザインについて学ばせたい	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発の基本 ・商品のコンセプトや商品名の付け方、考え方についての講義 ・新商品開発の模擬的な演習 ・商標出願の進め方の講義(講師:商品開発専門家) 	100分	2~3年

モデル校の先生、生徒の声

「こちらの要望に応じ、様々な講師による講義を企画して頂き大変感謝しております。」
(弁理士、商品開発専門家派遣を活用したモデル校の先生)

「とてもいい企業見学ができました。特許はもとより、学校で学習している技術、環境に関する取組み等についても紹介があり、大変有意義でした。」(特許を活用している工場見学をしたモデル校の先生)

「自分たちで何かを作って商品化して、特許を取りたいなと思いました。今日のお話を聞いて特許は身近にあるんだなと感じました。」(知財基礎授業に参加した生徒)

「グループで、商品名とキャッチコピーを考えるのは、すごく大変でした。私が普段から目にしてパッケージ作りの裏を知ることができた。」(商品開発実習に参加した生徒)

申込み方法

別紙、「知財人材育成支援申請書」にご記入の上、発明協会までご提出ください。